

## 職員による自己評価

## A環境・体制設備

- ・駐車場が遠い為、車を戻しに行くまでに人が少なくなる事がある。
- ・活動室が広い為、職員の声が届かないことがたまにある。
- ・トイレに補助バーがあるといい。
- ・職員の異動が多い。

## B業務改善

- ・第三者による外部評価を改善につなげている。
- ・非常勤の職員は研修の機会を確保できていない。

## C適切な支援の提供

- ・ミーティングやモニタリングを行っている。
  - ・放デイのガイドラインが何かを知らない職員が一定数いる。
- 必要に応じて支援内容の振り返りを行い共有。  
それを保護者に説明している。

## D関係機関との連携

- ・関係機関とは児童発達支援管理責任者が窓口となり連携をとっている。
- ・医療的ケアが必要な児童が在籍しない。

## E保護者への説明責任・信頼関係

- ・地域住民との交流は実施されていない。
- ・父母会は実施していないが、卒業生の保護者様からのアドバイスや就労についての情報など、  
面談を通して在籍の保護者様に共有している。

## E非常対応

- ・各種マニュアルはあるが周知が足りていないように感じる。
- ・やむを得ず身体拘束を行う事について説明・了承はいただいている。
- ・今後に生かす為のヒヤリハットを積極的に作成することができている。

## 保護者による評価

## A環境・体制設備

## 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか

- ・とても広いと思います。

## 職員の配置数の適正

- ・どの職員も温かみを感じることができ、  
さらにプロとして考えて頂けていると思う。

## B適切な支援の提供

## ニーズや課題が分析された上で計画書が作成されているか

- ・オープンに、話をしやすい環境でニーズなどを聞いてもらえる面談内容。

## 活動プログラムが固定化されていないか

- ・どちらともいえない
- ・このままで良い。満足している。

## 障害のない子どもと活動する機会

- ・そういう機会があるのかよくわからない。
- ・特に必要と感しない。

## C保護者への説明等

## 支援内容等について丁寧な説明がされているか

- ・本人が安定して過ごせることを第一に支援を考えてくれている。

## 子どもの発達状況や課題について共通理解できているか

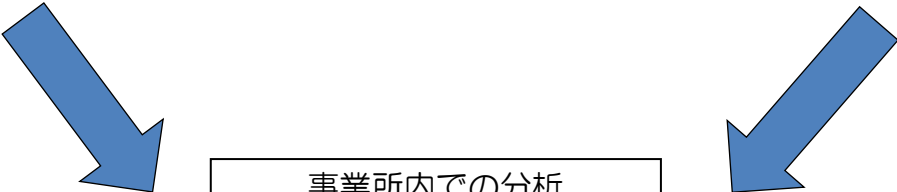
- ・送迎時などに様子を細かく伝えてくれ安心できる。

## D非常時の対応

- ・特に不安はない
- ・よくわからない

## E満足度

- ・ダンスやビュッフェおやつなど、楽しんで参加できている様子が伺える。
- ・大変満足している。こちらの疑問点にも真摯に向き合っている。
- ・どの職員さんからも暖かい愛情を感じることができる。



## 事業所内での分析

### 【共通点】

- ① 支援内容や児童の様子を保護者様と共有できている。
- ② 地域との交流や父母会が実施出来ていない。
- ③ マニュアル等の説明が足りない。

### 【相違点】

- ① 身体的障がいがある児童へのバリアフリー（補助具）が足りない。
- ② 職員の異動が多かった。

分析・検討してみて…

### 事業所の強み

- ・活動室の解放感・広さ
- ・保育士等、専門的職員配置数の充実
- ・職員全体で支援の方向性や児童の特性などを確認できる
- ・ご家庭とのコミュニケーションが取れている

### 事業所の改善点

- ・職員間の情報共有の徹底
- ・活動プログラムの見直し
- ・防災や感染症等マニュアル等の周知
- ・職員の知識向上
- ・職員の固定

## 事業所の改善への取り組み

- ・コロナ禍で開催されなかった地域の協議会などに参加していく。
- ・環境（ハード面）補助具の設置や、転倒に備えたクッションテープなど用いて対策。
- ・環境（ソフト面）ケース会議や、ヒヤリハットを今後の支援に生かす為、細かな共有の強化を行う。
- ・保護者様が参加型の季節イベントの検討。

### ～自己評価を行っての事業所としての感想など～

2022年に店舗移転を行い、二回目の冬を迎えました。管理者の変更や、一部職員の異動など変動もありましたが、保護者様からの応援の声を数多くいただくことができました。

ご家庭や学校との連携をとり、児童特性の理解を深め、職員全体で支援の方向性を考えてまいります。「楽しかったね!」「できたね!」個性と向き合いながら、少しずつチャレンジしてみる機会を増やしていけるよう支援を行っていきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

事業所名 ライズ児童デイサービスいどがや

担当者 星野 美木